

## 9月定例記者会見の概要

1 日 時 令和元年9月2日(月)9時30分～10時30分

2 場 所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)  
河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)  
毎日新聞社南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)  
福島民報社南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)  
福島民友新聞社相双支社(南相馬記者クラブ会員)  
みなみそうまチャンネル

計 6 社

<市側>

市長 林副市長 松浦副市長 教育長  
小高区役所長 鹿島区役所長 総務部長 復興企画部長  
市民生活部長 健康福祉部長 こども未来部長  
経済部長 経済部中目理事 建設部長  
総合病院事務部長 教育委員会事務局長

計 16 人

(司会進行)秘書課長  
(会議記録)秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

皆様おはようございます。

本日はお集まりいただきありがとうございます。

それでは、定例記者会見を始めさせていただきます。

はじめに、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

最初に全般的なこととなりますが、この一カ月、夏祭りや様々な行事がございました。記者の皆様には、丁寧な取材を行っていただくと共に、新聞へ掲載いただきましたことにつきまして、改めて御礼申し上げます。

ありがとうございました。

まず、8月19日に道の駅南相馬において福島県市長会議を開催いたしました。当日は県内11市の市長、副市長にご出席いただき、会計報告など審議を行った他、昼食には農家民宿のお母さん方が地元食材を使った郷土料理を提供して、おもてなしさせていただきました。

また、行政視察として、小高交流センター、福島ロボットテストフィールド、沿岸部の整備状況などを視察いただき、当市の復興状況をご覧いただきました。

続いて、8月22日に第1回となる（仮称）小高スマートインターチェンジ地区協議会を開催いたしました。

地区協議会においては、実施計画書案が全会一致で承認され、策定した実施計画書については、同日付けで関係機関へ提出しました。現在は、新規事業採択を待ち望んでいるところです。

小高区においては、復興拠点施設や商業施設の整備や企業誘致などが進んでいますが、居住人口は、以前として震災前の3割に満たない状況が続いています。こうした状況の中で旧避難指示区域の再生を進めるために、本スマートインターチェンジは必要不可欠なものとなりますので、今後も開通に向けて努力して参ります。

続いて、8月28日に東京電力ホールディングス株式会社より、過日提出しておりました営業・営農損害等の賠償継続に関する要求書の回答書を受領いたしました。当日は、東京電力の新妻常正フェローが来庁し、回答書を受領いただきましたが、その内容としては、従来からの賠償の枠組みを超える新たなものは見当たらず、大変残念である旨をお伝えさせていただきました。

人口減少や風評被害により商工業者や農業者の売上も回復が厳しく、廃業となる業者も出てきています。

原発事故により生じた損害については賠償されるべきものですので、東京電力には今後とも誠実な対応を求めて参ります。

続いて、8月29日、30日の2日間、アフリカ開発会議に合わせて横浜市で開催された、ホストタウン首長座談会及び友好促進イベントに出席して参りました。首長座談会では、ジブチ共和国の関係者の皆様へ、これまでの復興に対するご支援への感謝を改めて述べさせていただくと共に、ジブチ共和国と南相馬市の子供達がスポーツを通じて交流してきた経過についてお話させていただきました。

また、友好促進イベントにおいては、昨年度にジブチ共和国の子供達とサッカー交流を行った南相馬市の大甕サッカースポーツ少年団、一部鹿島区の子供達も含まれますが、こうした子供達から預かったビデオメッセージと選手達への応援の色紙を渡して参りました。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで残すところ1年を切りました。引き続き、ホストタウン交流相手国及び地域との相互交流を進め、絆を深めてまいりたいと思います。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

今月の第4回南相馬市議会定例会に提出させていただく、案件の要旨について概要を説明させていただきます。

今回の提出案件は議案が41件、報告が4件の計45件を予定しています。

議案については、国の幼児教育・保育の無償化に係る子ども・子育て支援法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例や、来年度開所予定の市立おだか認定

こども園の設置に関する条例を提出する他、補正予算に関しては、園芸団地 地域営農支援施設に係る造成工事費やワールドロボットサミット福島大会に向けた市内ロボット産業の盛り上がり醸成に向けた施策推進経費などを計上する予定です。

詳細はのちほど総務部長より説明させていただきます。

次に、福祉のしごと就職説明会についてです。

9月6日、7日の2日間、介護職員不足の解消を目指し、市内の介護保険事業所合同の就職説明会を開催いたします。

今年度から、新たに障がい福祉事業所にもご参加いただくことになりました。

詳細については、のちほど健康福祉部長から説明させていただきます。

次に、市民企画型スタディツアーについてです。

9月7日、8日の2日間で市民と市外在住者とのつながりを深めることを目的としたスタディツアーを実施いたします。

サーフィン体験などを通じて、当市の地域資源である海の魅力などを発信するものとなっています。

今年度は更に2本のツアーを予定しており、それぞれ南相馬市の地域資源を有効活用し、その魅力を発信する企画となっております。

詳細については、のちほど経済部長より説明させていただきます。

次に、かしまみなとまつりについてです。

9月14日に実行委員会主催による「第4回かしまみなとまつり」が開催されます。

例年、行列が出来るほど好評な「魚つかみ取りチャレンジ」をはじめ多数のイベントを予定しています。

詳細については、のちほど鹿島区役所長より説明させていただきます。

次に、市敬老会についてです。

地域コミュニティの維持再生を目的として、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の影響で休止していた敬老会を再開いたします。

日程は、小高区が9月16日、鹿島区が9月29日、原町区が10月14日となります。

詳細については、のちほど健康福祉部長より説明させていただきます。

次に、中学生海外研修事業についてです。

9月1日にオーストラリア海外研修に参加した生徒達による報告会を開催したところですが、9月24日に中学生海外研修事業のモデル事業の一環として、原町第三中学校の生徒達が、天栄村にあるブリティッシュヒルズで研修を実施します。

ブリティッシュヒルズは、英語教育を行う資格を有するスタッフが常駐し、公用語として英語を利用するなど英国を忠実に再現した施設となっており、生徒達は活きた英語に触れながら、様々な課題に取り組む予定となります。

参加する生徒の皆さんには、本研修を通じて、実践的な英語の会話力や課題解決に向けた思考力等を身に付けてきていただきたいと思います。

この他、各部からそれぞれ数点報告事項を申し上げます。のちほど各部長より説明させていただきます。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受けいたします。

#### 【各部からの報告】

##### 総務部

- ・第4回南相馬市議会定例会市長提出議案の要旨

##### 鹿島区役所

- ・第4回かしまみなとまつりの開催について

##### 健康福祉部

- ・令和元年度第1回南相馬市福祉のしごと就職説明会の開催について
- ・令和元年度「南相馬市敬老会」の概要
- ・笑顔あふれるみんなの集い「けんこうお楽しみ会」の開催について

##### 経済部

- ・地酒「御本陣」酒米稲刈り体験参加者募集について
- ・道の駅南相馬開駅12周年記念感謝祭の開催について
- ・市民企画型スタディツアーの催行について

#### 【質疑応答】

質問1：

小高認定こども園について、初年度の児童の募集はいつ頃から開始となるのか、また、開園がいつからになるかを教えてください。

回答1：こども未来部長

詳細はまだ決めておりませんが、11月に施設が完成予定となるため、そのころから募集を開始する予定です。開園は4月からを予定しています。

質問2：

小高認定こども園の初年度の入園園児数の見込みが60名となっていますが、これはどのようにして算出した数字か、また、小高幼稚園から来る児童は何割ぐらいを想定しているかを教えてください。

回答2：こども未来部長

小高認定こども園の定員が123人となっており、1号認定、2号認定、3号認定毎の園児の数、保育士の配置などを考慮した結果、60名という数字を見込んでいます。

小高幼稚園から持ち上がりとなる園児の数については調査段階のため不確定となりますが、持ち上がりとなる園児及び新入園の園児を合わせて20名程度を見込んで

でいます。

質問 3 :

最新の待機児童の人数と、小高認定こども園ができることによって、今後どのように待機児童数が推移する見込みとしているかを教えてください。

回答 3 : こども未来部長

待機児童については昨年度が 64 名で、4 月 1 日時点では 29 名となっています。今後の待機児童の推移についてですが、補正予算にもありましたとおり、原町区内に新たに認可保育園が出来る予定です。

具体的な数字はまだ把握できていませんが、この新たな認可保育園と小高認定こども園が開園すれば、待機児童の解消が出来るのではないかと見込んでいます。

11 月から私立幼稚園も含めて市内の保育園・幼稚園の募集が開始となりますので、その中でより詳細な動向がわかると思います。

質問 4 :

聖火リレーの関係についてです。予算の中に、聖火リレーのセレブレーション事業が含まれており、オリンピック・パラリンピック関連事業を実施するとありますが、具体的に聖火リレーが通過する際の事業の中身は、どこまで決まっているのか教えてください。

回答 4 : 市民生活部長

聖火リレー、セレブレーション事業の関係につきましては、組織委員会と打ち合わせを進めているところですが、今回の補正予算は、必要最小限の費用を計上したものととなります。

中身としては、のぼり旗など機運の醸成を行うための事業費や、ボランティアを募集するための費用などとなります。

質問 5 :

原ノ町駅前広場整備事業についてですが、場所はどのあたりで、どのような広場になるのか教えてください。既に完成予想図等はあるのでしょうか。

回答 5 : 建設部長

現在、原ノ町駅前の駐車場と丸屋の間に新しい県道を作る工事が進んでおり、県道が完成後、道路と一体的となった広場を作る予定としています。

広場の中身としては、ロータリーなどの整備を予定しています。

質問 6 :

東電との和解関係ですが、結局のところ、どこが認められ、どこが認められなかったのかを教えてください。

回答 6 : 総務部長

当初、32 項目ほど損害項目がありましたが、最終的にはそのうちの 17 項目について和解することとなり、合計額は 2,630 万円となります。

一番金額が大きかった損害項目である住民への見舞金 8 億 5000 万円については、全く認められませんでした。

今回の和解はそれを除く部分について和解するものであり、今後については改めて弁護士と検討を進めて行く予定です。